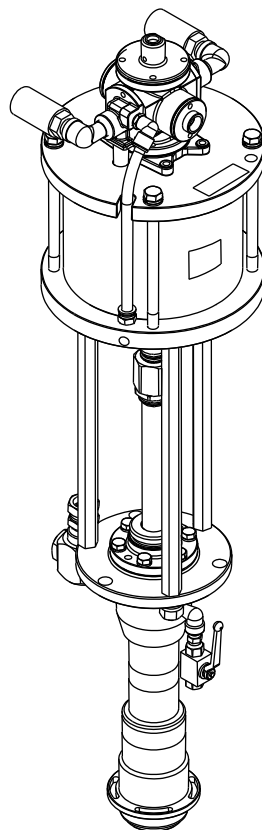


取扱説明書

250 型高粘度ポンプシリーズ (パッキンシールタイプ)

SR250P10 (10×1)	ITEM No.854298
SR250P20 (20×1)	ITEM No.854299
SR250P40 (40×1)	ITEM No.853869
SR250P55 (55×1)	ITEM No.853870



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

250型高粘度用グリースポンプは、グリースの移送用に使用するためのエアパワードポンプです。本製品は、吐出量が多く、吐出圧も高いので、グリースの移送、あるいは配管から分岐し同時に多数の出口で使用する場合など、短時間に連続して多量の供給を必要とする場合に最適のポンプです。また、本製品は、ドラム缶にセットして使用するよう設計されていますので、専用のダブルエレベーター（853871）に取り付けてご使用になることをお勧めします。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。







この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。








- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。




[使用環境・条件について]

 注意	
	- よく読んでからご使用ください。 本製品を安全に正しくお使いいただくために、注意事項を理解してから使用してください。
	- 取扱制限 本製品の操作者・管理者は、本製品の内容を理解していない者に操作させないでください。
	- 本取扱説明書、注意ラベルなどを汚損、紛失した場合は、速やかにお買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先からご購入いただき保管・貼付してください。

[据え付けおよび配管について]

 注意	
	- 緊急停止用バルブを設置してください。 エア源から本製品までのエア配管（本製品に近づかず、容易に操作できる場所）に緊急停止用バルブを設置し、緊急の場合はこのバルブを閉じてください。
	- 作業を中断してください。 作業中に危険を感じたり異常に気付いた場合は、作業を中断し原因を取り除いてからやり直してください。
	- エアを切ってください。 作業をするときは、必ず供給エアを切ってから行ってください。
	- 正しく設置してください。 配管材、サイズなど注意事項に沿って適切な設置を行い、漏れや破損がないよう十分注意してください。
	- 直接配管禁止 ポンプのエア供給口や吐出口は、直接配管と接続せず、ポンプと配管の間にはホースなどのフレキシブルなものを使用してください。直接配管と接続すると、ポンプの振動による騒音の発生や配管の損傷、ポンプのメンテナンスができないなどの問題が生じます。
	- アースについて 構成装置には、必ずアースしてください。液材を高速で移送する場合は、静電気の発生が予想されます。また、可燃性雰囲気になることが予想される場合は、換気を徹底してください。

[使用方法について]

 警告	
	- 理解してから作業してください。 作業者、保守要員の方は、本製品およびこれに関連するポンプの操作、または保守を行う前に取扱説明書をよく読んで、完全に理解できるまで作業を行わないでください。
	- 適用外使用禁止 本製品の仕様、規定された用途以外に使用すると、人身事故や物損事故の原因になります。「7.1 製品仕様」の項に基づいて使用してください。

[分解および保守・点検について]



- エアを切ってください。

エアを入れたまま作業を行うと、液材が吐出するなどの恐れがあります。
作業をするときは、必ずエアを切り装置を停止させてください。

また、接続された配管の内圧（エア、液材側共に）を抜いてから保守・点検の作業を行ってください。



- 改造禁止

本製品を改造すると人身事故や故障を生じる恐れがあります。危険ですので絶対に改造をしないでください。



- 本製品から排出される液材によっては有害物となる物もあります。

必ず容器に排出してください。地面に直接排出させないでください。



- 消耗部品の消耗時間について

取扱液材や運転条件により寿命に大きな違いがあります。本来の性能が著しく低下しているようであれば、部品を新品と交換してください。

[運転休止および保管について]



- 長時間使用しない場合、または停止する場合

作業終了後および夜間・休日は必ず本製品への供給エアを切って、ガンを開放にして配管、ホース内の内圧を抜いてください。

エアを供給し続けてパッキン・ホース類の破損によりポンプが作動し、施設をグリースによって汚染させるなどの恐れがあります。

二次災害については使用者側の責任になります。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部の名称	1
1.2 梱包内容	1
2. 作動原理	1
3. 設置・使用前の準備	
3.1 アース線の接続	2
4. 使用方法	3
5. 保守・点検	3
5.1 トラブルシューティング	4
5.2 保守・点検	4
5.3 消耗部品	5
5.4 分解・組み立て	7
6. 部品分解図・パーツリスト	8
7. 仕様	
7.1 仕様	12
7.2 外観寸法	12
7.3 パフォーマンスカーブ	13
8. 製品保証登録シート	14
9. 保証規定	15

1. 各部の名称

1.1 各部の名称

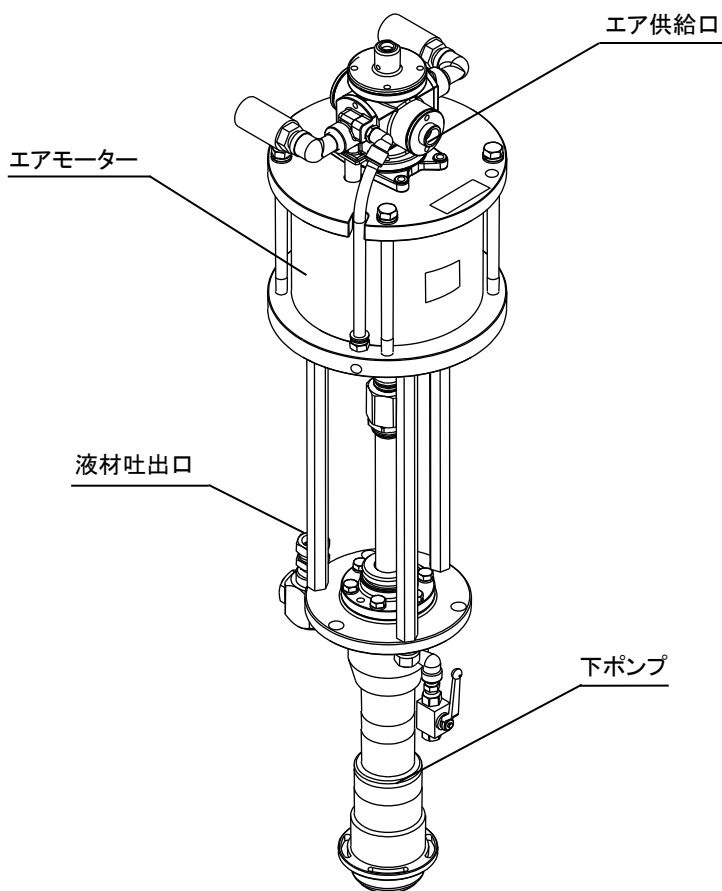


Fig.1

1.2 梱包内容

開梱後、ただちに輸送中の損傷がないかおよび付属品の欠品がないか確認してください。

また、締付部および配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。

2. 作動原理

ヤマダエアパワーポンプは、圧縮エアによって駆動されるレシプロケート（往復運動）型のポンプです。

右図の通りポンプを駆動するエアモーター部と液材を汲み上げる下ポンプによって構成されています。

エアモーターにコンプレッサーからの圧縮エアを送り込むと、エアピストンがその中に組み込まれたエア切換機構の働きによって、上下の往復運動を開始します。

この動きは、エアモーターのエアピストンと下ポンプのピストンを結ぶ接続ロッドによって、下ポンプのピストンに伝えられ、これに上下の往復運動を与えられます。

下ポンプのピストンが上下の往復運動をすることにより液材は、下ポンプ内に汲み込まれ、吐出口から圧送されます。

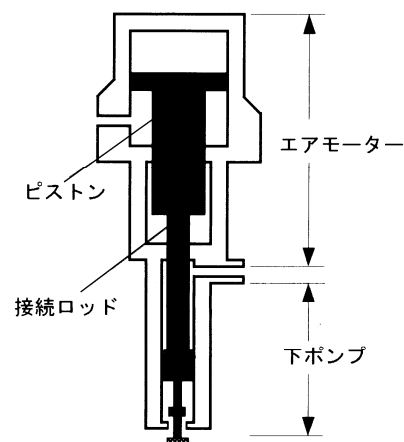


Fig.2

3. 設置・使用前の準備

本製品はダブルエレベーターに組み付けされ、ユニットで使用されますので、それらの設置方法、使用方法、取扱注意などは、本製品に同梱されている取扱説明書（Doc. No. APP 022U）を参照してください。

⚠ 注意



- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材（またはシールテープ）を塗布し緩まないように確実に締め込んでください。シール材が配管内に入らないように注意してください。
また、アースの導通を維持するために先端2山には塗布しないでください。
（ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません）
配管接続後、各部の漏れがないか、また導通されているかを確認してください。

- 1) 本製品は、出荷時に石油系鉱物油で工場テストされていますので、使用する液材にあった溶剤でポンプ、配管出口まで循環させ洗浄してください。

⚠ 注意

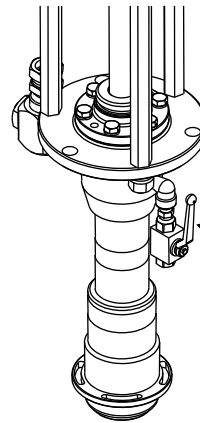


- パッキンやOリングにNBR、PUR（ウレタン）を使用していますので、洗浄する際、それらを劣化させる溶剤を使用しないでください。

- 2) 下ポンプのブリーダバルブを開けておいてください。

NOTE

直接配管に接続する場合も、エアリフトが上昇、または下降しますので、必ずフレキシブルなホースを使用してください。



ブリーダバルブ
ドラム缶をセッ
トするときは開
いておき、エア
抜きが終了したら
完全に閉めてく
ださい。

Fig.3

3.1 アース線の接続

⚠ 警告



- 構成装置には必ずアースを接続してください。
アース線を接続しない状態でポンプを運転すると摺動部や、移送液材の種類によってはケーシング内を流れる際の摩擦により、静電気が発生し、ポンプが帯電する可能性があります。移送液材または設置場所の環境（雰囲気や周囲の設置物など）によっては火災、感電の原因となります。

- 1) ポンプを設置するときには必ず指定箇所からアースを接続してください。（Fig.4）
- 2) ポンプの補器類や配管についても同様にアースを接続してください。
- 3) アース線は、断面積 2.0 mm²以上のものを使用してください。

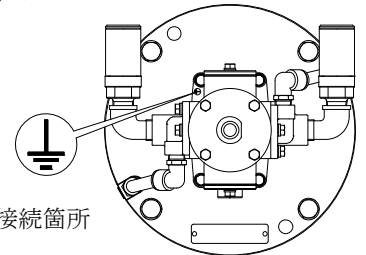









Fig.4 アース接続箇所

4. 使用方法

⚠ 注意

-  - 本製品の最高使用エア圧力は、0.7 MPa です。これ以上の圧力での使用は破損などによる人身事故・物損事故を招くことがあります。**絶対に 0.7 MPa を超える圧力では使用しないでください。**エアラインが 0.7 MPa 以上ある場合は、エアレギュレーターを使用して 0.7 MPa 以下に減圧してください。**万が一のエアレギュレーターの故障を考慮し、配管の途中にリリース弁を挿入してください。**
一次側エア配管には、ポンプ一台ごとに主管から分岐した場所に、3 点セット（フィルター、レギュレーター、ルブリケーター）を設置してください。
-  - 作動しているポンプの排気口には、絶対に顔を近づけないでください。高压で排気しますので水分が氷結する場合があります、氷によるケガをすることがあります。
-  - 作業終了後または夜間においてポンプに供給しているエアを遮断してください。ホースの破損、バルブまたはガンのリークによって施設などを汚染させるなど、二次災害に関しては使用者の責任となります。
-  - エアモーターと下ポンプを接続する 3 本のスタッドの中に手を入れないでください。往復動するプランジャーによって挟まれ、ケガをすることがあります。
-  - ポンプが作動不良、または作動停止の状態になった場合、ポンプを不用意に分解せず「5.1 トラブルシューティング」の項を参照し、その状況をよく判断して必要以外の部分は分解しないでください。
-  - エア混じりの液材が飛び散る恐れがあるので、ブリーダバルブの吐出口に顔を近づけないでください。
-  - 長時間使用しない場合は、エアを切り、配管内の残圧を抜いてください。





- 1) エアレギュレーターのコックを開き、ツマミを徐々に時計方向に回してください。
ポンプを 1 分間に 8~10 ストローク程度で軽く作動させてください。
- 2) 作動中ブリーダバルブより液材が出てきます。はじめはエアが混入していますので、エアが混入しない状態になるまでポンプを作動させ、正常な液材が出てきたらブリーダバルブのコックを閉めてください。(Fig.3)
- 3) これで使用できる状態になりましたので、エア供給圧力は使用条件に適合した希望の圧力にエアレギュレーターで調整してください。

NOTE

エアレギュレーターは、ポンプへの供給エア圧を調整することができ、ポンプの無駄な動きを少なくすることにより作業性を良くし、ポンプの寿命を長持ちさせます。
エアレギュレーターでのエアの圧力調整方法は、ツマミを時計方向に回すと加圧され、反時計方向に回すと減圧されます。

5. 保守・点検

⚠ 注意

-  - 保守・点検の際、ポンプやリフトが誤作動しないよう十分注意して行ってください。
-  - 保守・点検の際、他の作業者が誤ってスイッチなど操作しないように、張り紙などの周知するような策を講じてから行ってください。
-  - ガソリンは高揮発性の燃料です。本製品の洗浄などには絶対に使用しないでください。取り扱いによっては引火・爆発の恐れがあります。
-  - 部品を洗浄の際、アルミ、銅合金、鉄、ステンレスなどを腐食するような液体や O リングやパッキンを劣化させるような溶剤は使用しないでください。

5.1 トラブルシューティング

状況	考えられる原因	対策・処置
ポンプが作動しない	コンプレッサーが作動していない	コンプレッサーを作動させる
	エア配管のバルブが閉じている	バルブを開ける
	エア圧力設定が 0.2 MPa 未満になっている	エア圧力設定を 0.2 MPa 以上にする
	液材吐出側のバルブが閉じている	バルブを開ける
	サイレンサー内部で凍結が発生している	エア配管にエアフィルターを設ける
	エアピストン摺動部の O リングが摩耗している (サイレンサーからエア漏れしている)	部品の交換
	切換バルブ(804358)内のブロック(705693)およびブロックを押さえているボールが摩耗している。または、切換ピン(714446)の破損 [図 1] [図 2]	
切換バルブ(804358)またはエアモーター(804357)内部の切換機構に関わる部品 (833186 切換本体組立、スプリング、ピン類など) の破損 [図 2]		
エアモーターからのエア漏れ	部品接続部ネジの緩み、O リング、パッキン類の破損	異常箇所を増し締めまたは部品交換
ポンプ停止時にサイレンサーからエア漏れを起こしている	切換バルブ(804358)内のブロック(705693)と切換弁座(705688)のスライド部に異物が挟まっているか、シート部の摩耗またはガスケット(772331)の破損 [図 1]	部品の交換または異物の除去
初めて液材を通すとき、液材を吸い込まない	ポンプの作動速度が速すぎて、下ポンプの吸い込みが間に合っていない。(下ポンプ内のバルブが効きにくくなっている)	エア圧力設定を下げて、液材を吸い込むまで 1 分間当たり 8~10 ストローク程度で作動させる
液材を圧送しない	ブランジャーの動きで下降工程の方が速い場合、ピストンバルブのシート不良 (シート部の摩耗、異物の混入) またはパッキン類の破損	部品の交換または異物の除去
	ブランジャーの動きで下降工程の方が速い場合、フートバルブのシート不良 (シート部の摩耗、異物の混入)、パッキン類の破損、ショベルロッドの曲がり	
	ブランジャーの動きで下降工程の方が速い場合、ポンプの作動速度が速すぎて、下ポンプの吸い込みが間に合わない (下ポンプ内が真空状態になっている)	左記の現象が収まる程度にエア圧力設定を下げる (現条件時、この圧力がポンプの正常な作動の上限值となる)
ポンプが停止しない	液材吐出側配管からの液材漏れ 下ポンプの部品接続部からの液材漏れ (部品接続部ネジの緩み、O リング、バックアップリング、パッキン類の破損)	異常箇所を増し締めまたは部品交換
下ポンプからの液材漏れ	部品接続部ネジの緩み、O リング、バックアップリング、パッキン類の破損	異常箇所を増し締めまたは部品交換
エア抜きをしたにも関わらず液材にエアが混じる	サクシヨン配管のネジの緩み、シール不良	異常箇所を増し締め、シールし直し
	下ポンプの部品接続部ネジの緩み、O リング、バックアップリング、ガスケットの破損	異常箇所を増し締めまたは部品交換

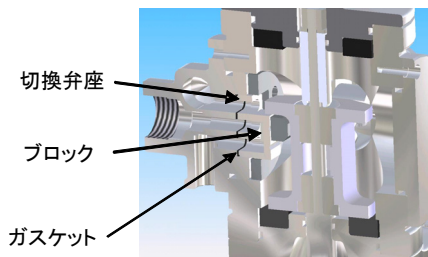


図 1. 切換バルブ断面図

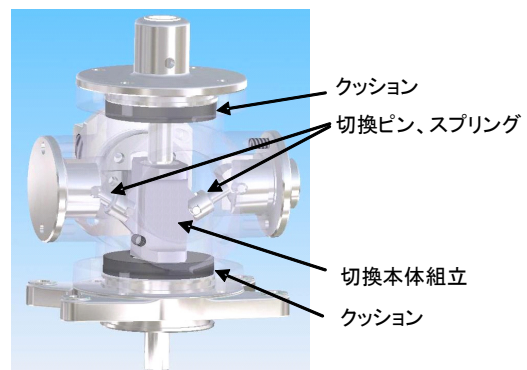


図 2. 切換バルブ内部構造図

5.2 保守・点検

[注油] ルブリケーターに給油をしてください。タービン油 1 種 (無添加) ISO VG32 を使用してください。

5.3 消耗部品

消耗部品の推奨交換時期について、下表を参照してください。ただし、使用条件により消耗度合が異なりますのであくまで目安としてください。また、日常点検や作業中に、漏れなどの異常を発見した際には、都度交換してください。

部品番号				部品名	数量	推奨交換時期
854298 SR250P10	854299 SR250P20	853869 SR250P40	853870 SR250P55			
632074				割りピン	1/台	メンテナンス時
804357				エアモーター組立		
804697				サイレンサー組立	2/台	600万サイクル
715387				エアシリンダー	1/台	1000万サイクル
570144				ナイロンチューブ	2/台	600万サイクル
632044				割りピン	1/台	メンテナンス時
686104				ペンタシール	1/台	300万サイクル
716858				ピストンキャップ	1/台	1000万サイクル
714996				切換ロッド	1/台	1000万サイクル
714295				スプリング	2/台	600万サイクル
640099				Oリング	1/台	300万サイクル
833094				ピストン組立	1/台	1000万サイクル
640041				Oリング	1/台	300万サイクル
804358				切換バルブ組立		
714818				受け座	1/台	1000万サイクル
640015				Oリング	2/台	300万サイクル
833186				切換本体組立	1/台	1000万サイクル
700231				ピン	2/台	600万サイクル
714446				切換ピン	2/台	600万サイクル
684537				スプリング	2/台	600万サイクル
713620				バネ受け	2/台	1000万サイクル
715114				受け座	1/台	1000万サイクル
772331				ガスケット	2/台	300万サイクル
705688				切換弁座	2/台	600万サイクル
705693				ブロック	2/台	600万サイクル
630313				ボール	2/台	600万サイクル
706612				スプリング	2/台	600万サイクル
770549				クッション	2/台	300万サイクル

部品番号				部品名	数量	推奨交換時期
854298 SR250P10	854299 SR250P20	853869 SR250P40	853870 SR250P55			
804726	804727	804455	804456	下ポンプ組立		
640040				Oリング	1/台	600万サイクル
-		632074		割りピン	1/台	メンテナンス時
715145	715040	715298	715307	プランジャー	1/台	1000万サイクル
684712	772698	685645	685652	バックアップリング	1/台	300万サイクル
684713	685461	685646	685653	Uパッキン	1/台	300万サイクル
685354				バルブ	1/台	300万サイクル
715150	715045	715302	715311	サクシオンチューブ	1/台	1000万サイクル
715153	715049	715024		バルブシート	1/台	600万サイクル
715155	715050	715304	715313	ピストンボディ	1/台	600万サイクル
640067	-			Oリング	1/台	300万サイクル
643727	-			バックアップリング	1/台	300万サイクル
-	685463	685648	685656	Uパッキン	2/台	300万サイクル
-	685464	773460	773461	バックアップリング	2/台	300万サイクル
772185	772699	772696	772834	ウエアリング	1/台	300万サイクル
715156	715051	715305	715314	ピストンバルブ	1/台	600万サイクル
715027				シヨベルロッド	1/台	600万サイクル
715157	715052	715028		フートバルブ	1/台	600万サイクル
643669				バックアップリング	2/台	300万サイクル
685546		-		ペンタシール	1/台	300万サイクル
-		685650		Oリング	1/台 ※	300万サイクル
772184	772700	772831	772833	スロートベアリング	1/台	600万サイクル
-		715306		バルブシート	1/台	600万サイクル
-		630340		ボール	1/台	600万サイクル
-		701504		スプリング	1/台	600万サイクル

※固定用Oリングは含まれません。

5.4 分解・組み立て

警告

- ❗ - 本製品の分解・点検は、必ず供給エアを止めて出口バルブを開き、ポンプ内の圧力を開放にしてから行ってください。
- ❗ - 本製品は、質量が大きいため、取り扱いには十分に注意してください。

注意

- ⊘ - 分解・点検などの際、下ポンプのみの状態においてポンプのストローク範囲を超えてプランジャーを引き上げないでください。摺動パッキンなどを損傷してしまう恐れがあります。(エアモーターと接続する際は、3本スタッドにて仮り締め接続してからプランジャーを接続してください。) また、同様にプランジャーを激しく引き上げないでください。部品同士の衝突により異物発生のおそれがあります。

エアモーター部は、極めて故障が少なく、特に分解の必要はありません。
万一、分解の必要が生じた場合は、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

[ポンプ組立の分離]

- 1) ポンプを作動させ、適切な溶剤で下ポンプ内を洗浄してください。
- 2) ポンプ組立とマウンティングブラケットを固定している 4 本のボルトを外し、インダクタープレートを固定している 4 本のボルトを外すと、ポンプ組立が取り外せます。ポンプ組立は質量が大きいため、取り扱いには十分注意してください。

[下ポンプの分解]

- 1) 3本の接続ロッドのナットを外してください。
- 2) ユニオンナットとプランジャー先端のブッシュのネジを緩めると下ポンプが外れます。
- 3) 吐出口とブリーダバルブを図のように外します。(Fig.5)
- 4) プランジャーを下方向に押しつけてポンプの下側(インダクタープレート取付部)からショベル部を押し出して、ショベル部の緩み止めナットを外してショベル部分を外してください。
- 5) サクションチューブからフートバルブハウジングを外してください。フートバルブが外れます。
- 6) ボディからサクションチューブを外してください。
- 7) ピストンバルブからショベルロッドを外し、プランジャーからピストンバルブを外し、プランジャーをボディから引き抜いてください。
- 8) ボディのグランド部を固定しているボルト(M12)を外すと、グランドリテーナーから U パッキンまで外すことができます。
- 9) 分解後、各部品を点検し、有害なキズやパッキンの破損、極端な摩耗などがありましたら部品を交換して、分解の逆の順序で、再度組み立ててください。

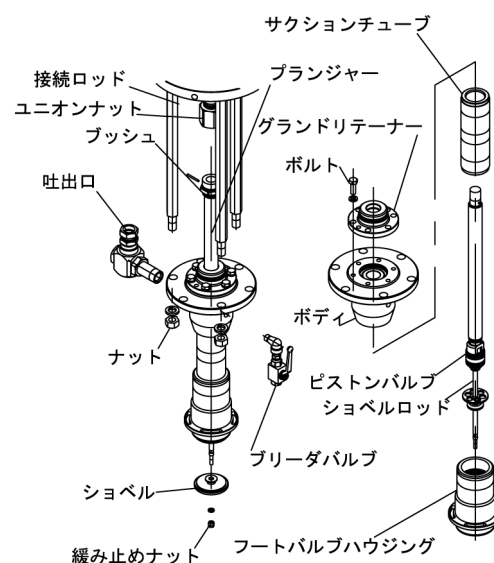


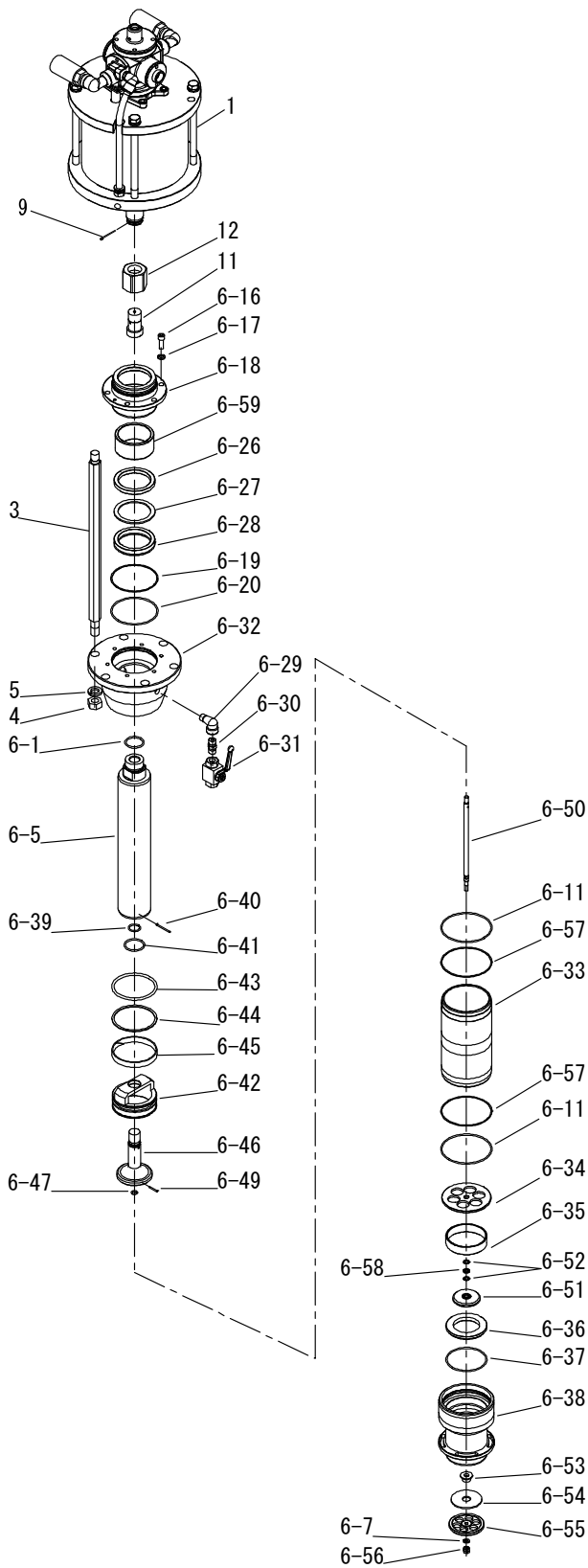
Fig.5

[エアモーターの分解]

エアモーターは組み立ての際の調整が難しいため、「5.1 トラブルシューティング」の項でエアモーターの故障と判断した場合は、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

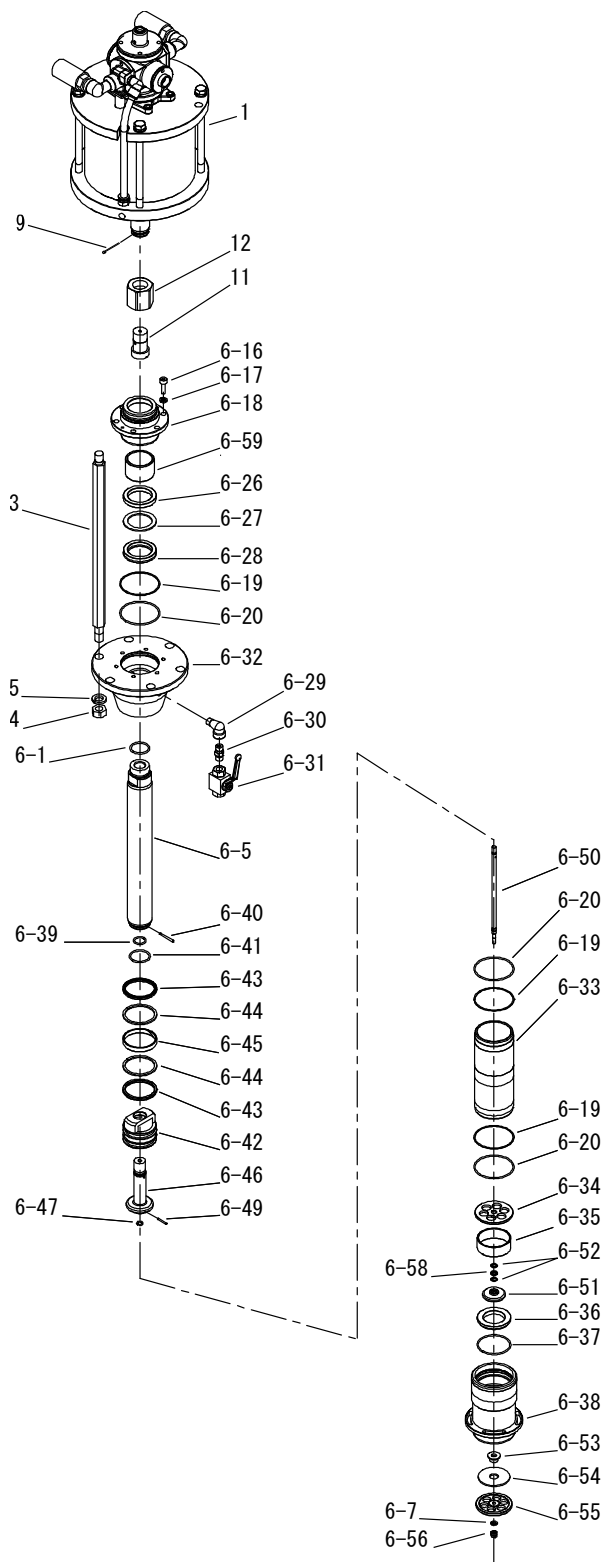
6. 部品分解図・パーツリスト

■854298 SR250P10 ポンプ組立



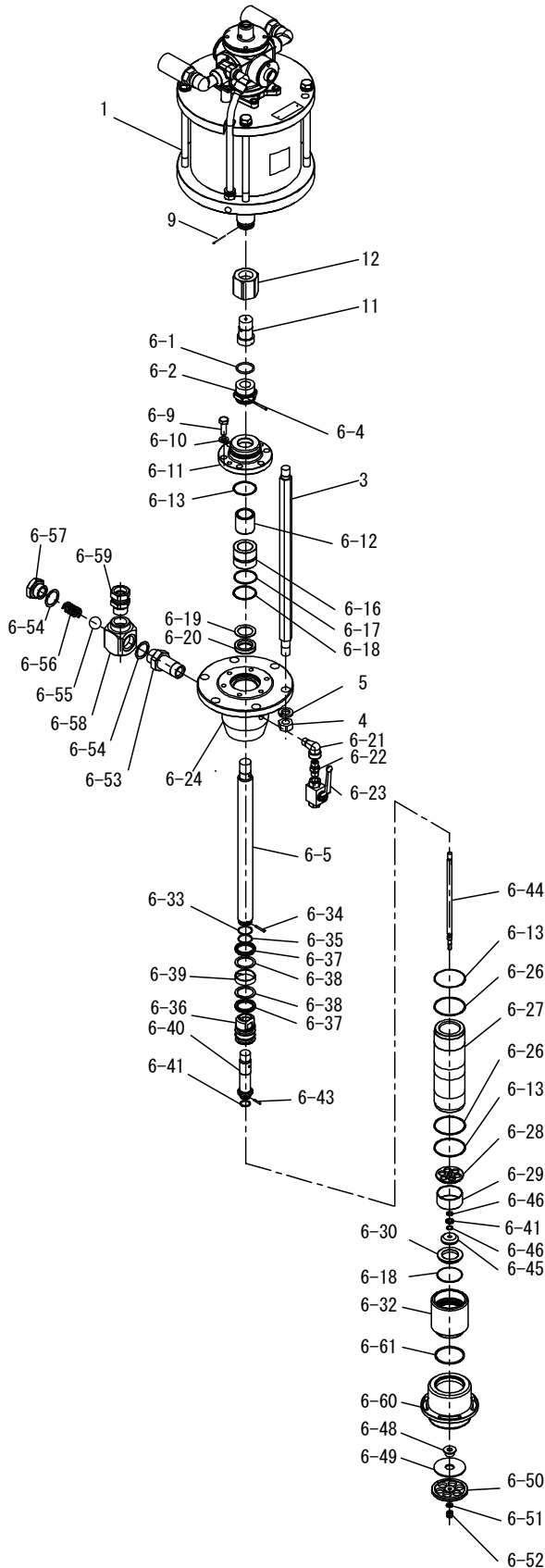
No	部品番号	部品名称	員数
1	804357	エアモーター組立	1
3	714994	スタッド	3
4	627018	ナット	3
5	631426	バネ座金	3
6	804726	下ポンプ	
6-1	640040	Oリング	1
6-5	715145	プランジャー	1
6-7	631420	バネ座金	1
6-11	640149	Oリング	2
6-16	619175	六角穴付きボルト	6
6-17	631421	バネ座金	6
6-18	715148	グランドリテーナー	1
6-19	685119	バックアップリング	1
6-20	640147	Oリング	1
6-26	713839	パッキン押さえ	1
6-27	684712	バックアップリング	1
6-28	684713	Uパッキン	1
6-29	681198	ストリートエルボ	1
6-30	685367	ニップル	1
6-31	685354	バルブ	1
6-32	715149	ボディ	1
6-33	715150	サクシオンチューブ	1
6-34	715151	バルブストッパー	1
6-35	715152	スペーサー	1
6-36	715153	バルブシート	1
6-37	640144	Oリング	1
6-38	715154	フートバルブハウジング	1
6-39	640130	Oリング	1
6-40	685462	ピン	1
6-41	687201	ガータースプリング	1
6-42	715155	ピストンボディ	1
6-43	640067	Oリング	1
6-44	643727	バックアップリング	1
6-45	772185	ウエアリング	1
6-46	715156	ピストンバルブ	1
6-47	640009	Oリング	1
6-49	632777	スプリングピン	1
6-50	715027	ショベルロッド	1
6-51	715157	フートバルブ	1
6-52	643669	バックアップリング	2
6-53	713551	バルブガイド	1
6-54	713552	バルブプレート	1
6-55	713553	ショベル	1
6-56	681886	ロックナット	1
6-57	685362	バックアップリング	2
6-58	685546	ペンタシール	1
9	772184	スロートベアリング	1
9	632074	割りピン	1
11	714998	コネクター	1
12	714999	ユニオンナット	1

■854299 SR250P20 ポンプ組立



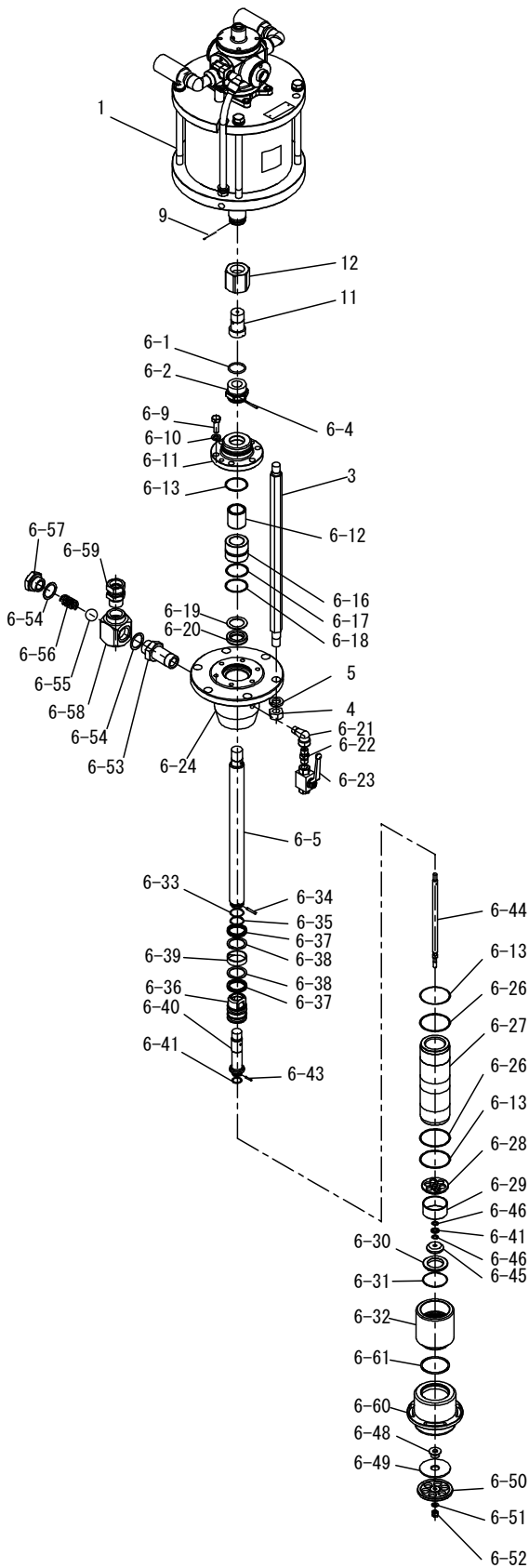
No	部品番号	部品名称	員数
1	804357	エアモーター組立	1
3	714994	スタッド	3
4	627018	ナット	3
5	631426	バネ座金	3
6	804727	下ポンプ	
6-1	640040	Oリング	1
6-5	715040	プランジャー	1
6-7	631420	バネ座金	1
6-16	619175	六角穴付きボルト	6
6-17	631421	バネ座金	6
6-18	715053	グランドリテーナー	1
6-19	685361	バックアップリング	3
6-20	640143	Oリング	3
6-26	715044	パッキン押さえ	1
6-27	772698	バックアップリング	1
6-28	685461	Uパッキン	1
6-29	681198	ストリートエルボ	1
6-30	685367	ニップル	1
6-31	685354	バルブ	1
6-32	715043	ボディ	1
6-33	715045	サクシオンチューブ	1
6-34	715047	バルブストッパー	1
6-35	715048	スペーサー	1
6-36	715049	バルブシート	1
6-37	640140	Oリング	1
6-38	715138	フートバルブハウジング	1
6-39	640130	Oリング	1
6-40	685462	ピン	1
6-41	687201	ガータースプリング	1
6-42	715050	ピストンボディ	1
6-43	685463	Uパッキン	2
6-44	685464	バックアップリング	2
6-45	772699	ウエアリング	1
6-46	715051	ピストンバルブ	1
6-47	640009	Oリング	1
6-49	632777	スプリングピン	1
6-50	715027	ショベルロッド	1
6-51	715052	フートバルブ	1
6-52	643669	バックアップリング	2
6-53	713551	バルブガイド	1
6-54	713552	バルブプレート	1
6-55	713553	ショベル	1
6-56	681886	ロックナット	1
6-58	685546	ペンタシール	1
6-59	772700	スロートベアリング	1
9	632074	割りピン	1
11	714998	コネクタ	1
12	714999	ユニオンナット	1

■ 853869 SR250P40 ポンプ組立



No	部品番号	部品名称	員数
1	804357	エアモーター組立	1
3	714994	スタッド	3
4	627018	ナット	3
5	631426	バネ座金	3
6	804455	下ポンプ	
6-1	640040	Oリング	1
6-2	715248	ブッシュ	1
6-4	632074	割りピン	1
6-5	715298	プランジャー	1
6-9	619199	六角穴付きボルト	6
6-10	631422	バネ座金	6
6-11	715299	グランドリテーナー	1
6-12	772831	スロートベアリング	1
6-13	685643	Oリング	3
6-16	715300	パッキンハウジング	1
6-17	643788	バックアップリング	1
6-18	685644	Oリング	2
6-19	685645	バックアップリング	1
6-20	685646	Uパッキン	1
6-21	681198	ストリートエルボ	1
6-22	685367	ニップル	1
6-23	685354	バルブ	1
6-24	715301	ボディ	1
6-26	685116	バックアップリング	2
6-27	715302	サクションチューブ	1
6-28	715022	バルブストッパー	1
6-29	715023	スペーサー	1
6-30	715024	バルブシート	1
6-32	717103	フートバルブハウジング	1
6-33	685655	Oリング	1
6-34	685455	平行ピン	1
6-35	687202	ガータースプリング	1
6-36	715304	ピストンボディ	1
6-37	685648	Uパッキン	2
6-38	773460	バックアップリング	2
6-39	772696	ウェアリング	1
6-40	715305	ピストンバルブ	1
6-41	685650	Oリング	2
6-43	632775	スプリングピン	1
6-44	715027	ショベルロッド	1
6-45	715028	フートバルブ	1
6-46	643669	バックアップリング	2
6-48	713551	バルブガイド	1
6-49	713552	バルブプレート	1
6-50	713553	ショベル	1
6-51	631420	バネ座金	1
6-52	681886	ロックナット	1
6-53	715306	バルブシート	1
6-54	701503	座金	2
6-55	630340	ボール	1
6-56	701504	スプリング	1
6-57	701505	キャップ	1
6-58	701502	バルブ本体	1
6-59	680083	ユニオンアダプター	1
6-60	717101	ショベルハウジング	1
6-61	640138	Oリング	1
9	632074	割りピン	1
11	714998	コネクター	1
12	714999	ユニオンナット	1

■ 853870 SR250P55 ポンプ組立



No	部品番号	部品名称	員数
1	804357	エアモーター組立	1
3	714994	スタッド	3
4	627018	ナット	3
5	631426	バネ座金	3
6	804456	下ポンプ	
6-1	640040	Oリング	1
6-2	715248	ブッシュ	1
6-4	632074	割リピン	1
6-5	715307	プランジャー	1
6-9	619199	六角穴付きボルト	6
6-10	631422	バネ座金	6
6-11	715308	グランドリテーナー	1
6-12	772833	スロートベアリング	1
6-13	685643	Oリング	3
6-16	715309	パッキンハウジング	1
6-17	643787	バックアップリング	1
6-18	685651	Oリング	1
6-19	685652	バックアップリング	1
6-20	685653	Uパッキン	1
6-21	681198	ストリートエルボ	1
6-22	685367	ニップル	1
6-23	685354	バルブ	1
6-24	715310	ボディ	1
6-26	685116	バックアップリング	2
6-27	715311	サクシオンチューブ	1
6-28	715022	バルブストッパー	1
6-29	715023	スペーサー	1
6-30	715024	バルブシート	1
6-31	685644	Oリング	1
6-32	717102	フートバルブハウジング	1
6-33	685655	Oリング	1
6-34	685455	ピン	1
6-35	687200	ガータースプリング	1
6-36	715313	ピストンボディ	1
6-37	685656	Uパッキン	2
6-38	773461	バックアップリング	2
6-39	772834	ウエアリング	1
6-40	715314	ピストンバルブ	1
6-41	685650	Oリング	2
6-43	632775	スプリングピン	1
6-44	715027	ショベルロッド	1
6-45	715028	フートバルブ	1
6-46	643669	バックアップリング	2
6-48	713551	バルブガイド	1
6-49	713552	バルブプレート	1
6-50	713553	ショベル	1
6-51	631420	バネ座金	1
6-52	681886	ロックナット	1
6-53	715306	バルブシート	1
6-54	701503	座金	2
6-55	630340	ボール	1
6-56	701504	スプリング	1
6-57	701505	キャップ	1
6-58	701502	バルブ本体	1
6-59	680083	ユニオンアダプター	1
6-60	717101	ショベルハウジング	1
6-61	640138	Oリング	1
9	632074	割リピン	1
11	714998	コネクター	1
12	714999	ユニオンナット	1

7. 仕様

7.1 仕様

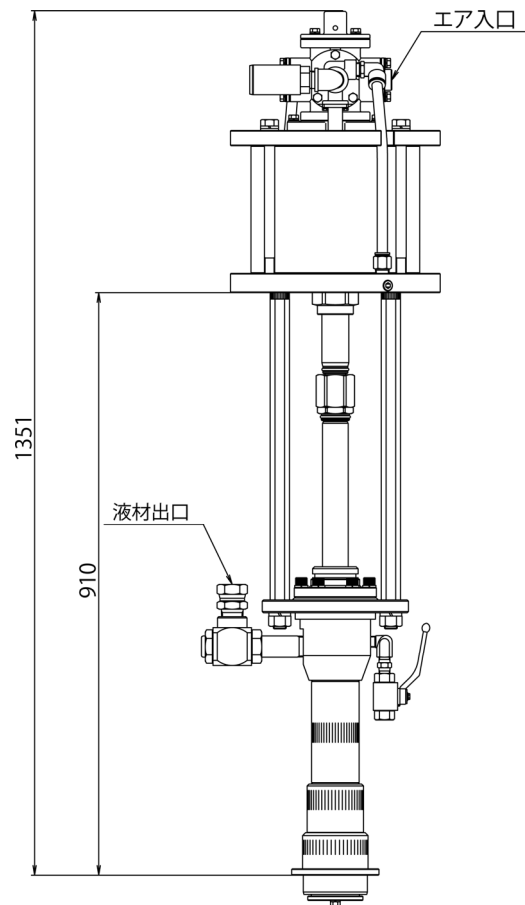
製品番号		854298	854299	853869	853870
型式		SR250P10	SR250P20	SR250P40	SR250P55
ポンプレシオ		10×1	20×1	40×1	55×1
液材接続	吸込口	専用インダクタープレート取付フランジ付き			
	吐出口	NPT 1 1/2(F)		G 1(F) 30° オスシート付ユニオン	
エア接続	供給口	NPT 3/4(F)			
使用エア圧力範囲		0.2~0.7 MPa			
作動音	騒音レベル※1	89 db			
	音響パワーレベル※2	98 db			
使用環境 温度範囲	気温	0~60 °C			
	液材温度	0~80 °C			
吐出量/サイクル※3		1270 mL	650 mL	345 mL	250 mL
最高吐出圧力	供給エア圧力 0.7 MPa 時	7.0 MPa	14.0 MPa	28.0 MPa	38.5 MPa
質量		83 kg	75 kg	71 kg	

※1 測定方法はISO1996に準じる。

※2 測定方法はISO3744に準じる。

※3 使用条件に異なる。

7.2 外観寸法

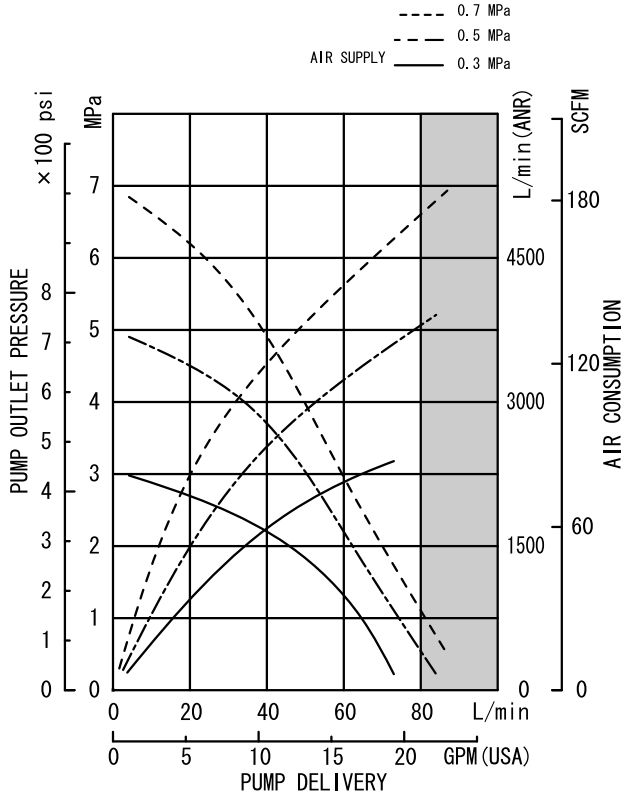


7.3 パフォーマンスカーブ

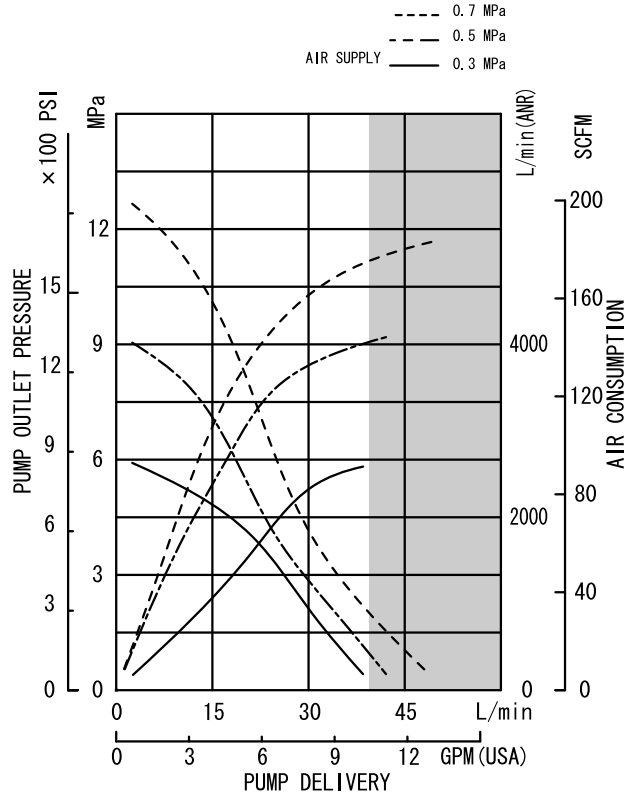
NOTE

ご希望の吐出量が右側のかげの部分に入るとすれば、ポンプの連続運転はおすすめできません。

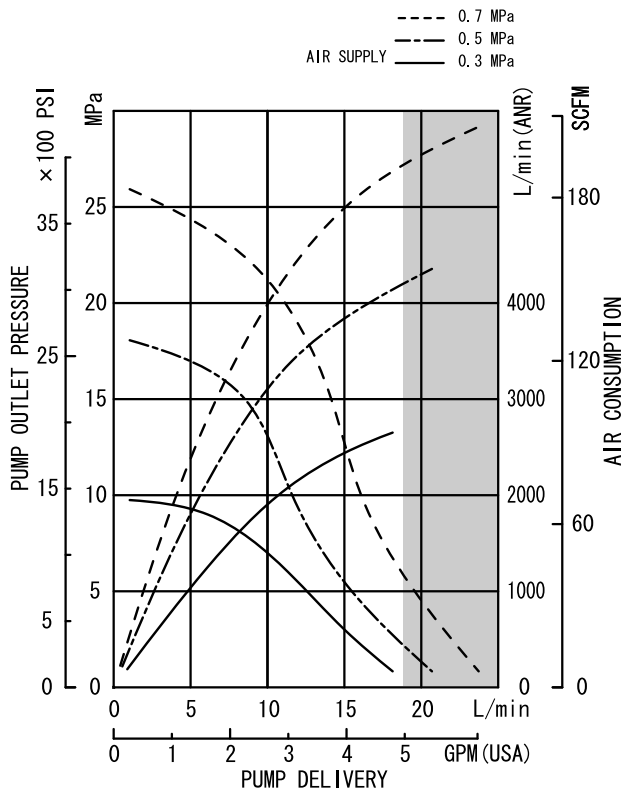
SR250P10 パフォーマンスカーブ



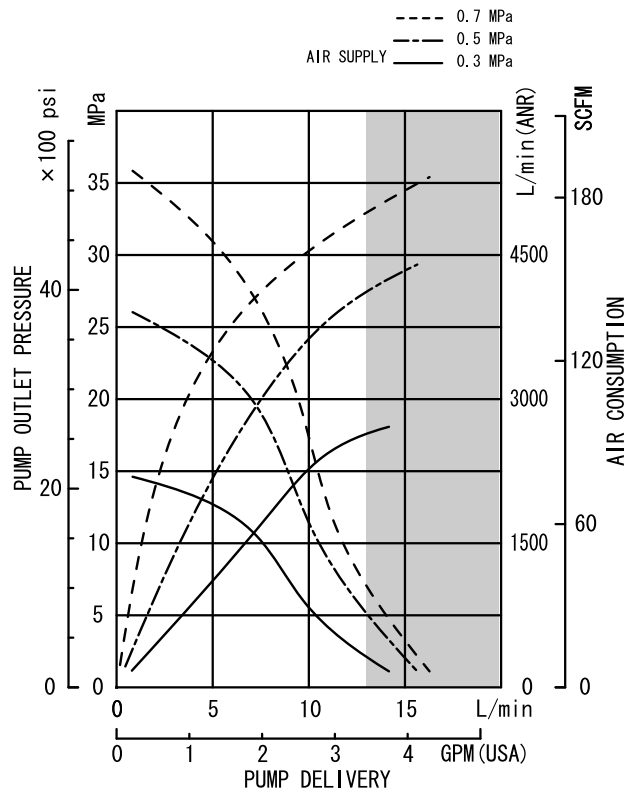
SR250P20 パフォーマンスカーブ



SR250P40 パフォーマンスカーブ



SR250P55 パフォーマンスカーブ



8. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。(フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。)

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

9. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

- 1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
- 2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
- 3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
 - (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
 - (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
 - (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
 - (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
 - (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
 - (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
 - (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
 - (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
 - (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
 - (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用された場合の故障。
 - (12) 日本国外においてご使用の場合。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。
 - ・ホース類
 - ・各種パッキン類
 - ・コード類
- 4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202501.2847 APP021U